

南三陸町病院事業改革プラン（平成30年度実績検証）

○改革プランの4つの柱

南三陸町病院事業改革プランは、(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化、(2) 経営の効率化、(3) 再編・ネットワーク化、(4) 経営形態の見直しと、大きく4つの柱で構成されています。今回はその中から(1)と(2)の数値目標と実績について、お知らせします。

地域医療構想を踏まえた役割の明確化における数値目標と実績

医療機能・医療品質に係るもの	H29年度（実績）	H30年度（目標）	H30年度（実績）
1日当たり平均入院患者数（人）	86.3	87.0	82.6
1日当たり平均外来患者数（人）	202.9	210.0	203.6
手術件数（件）	104	80	82
卒後臨床研修医受入数（人）	13	14	16

手術件数および卒後臨床研修医受入数は目標値を上回りました。平成患者数および平均外来患者数では目標値を下回ったものの、平均外来患者数は前年度実績を若干上回っています。平均入院患者数は前年度実績を割り込みましたが、病床利用率については91.8%と高い水準を維持しています。

経営の効率化における数値目標と実績

（単位：百万円税抜）

項目		H29年度（実績）	H30年度（目標）	H30年度（実績）
収支改善	医業収益	1,389	1,383	1,379
	医業費用	1,953	1,857	1,906
	経常収益	1,952	1,888	1,890
	経常費用	2,082	1,997	2,033
	経常損益	▲130	▲109	▲143
	純損益	▲130	▲109	▲143
経費削減	材料費の対医業収益比率（%）	14.8%	12.7%	13.5%
	病床利用率（%）	95.90%	96.67%	91.80%
収入確保	透析患者数（人）	3,502	3,600	4,229
	医師数（人）	7	10	7
	看護職員数（人）	66	70	68
経営安定性	職員数（常勤）	110	112	112

収益・費用ともに前年度実績を下回りました。医業収益（料金収入など）の減少以上に材料費などの医業費用の抑制に努めたものの、医業外収益（長期前受金戻入）の減少により純損益は前年度を下回りました。職員数は、医師のほか看護師など、前年度同程度で運営をしています。

今後も医療圏内の急性期病院や介護施設などと連携しながら病床利用率を高い水準で維持していくとともに、透析の診療体制の維持確保を図ってまいります。また、持続的な健全運営を図るため、効率的運営による費用削減を継続していきます。

○南三陸町病院事業改革プランとは

住民にとって安全安心な地域医療を持続的に提供していけるよう定めた病院の基本的な運営方針です。南三陸町第2次総合計画や県による地域医療構想等を踏まえ、病院が担うべき役割の明確化や効率化等について、具体的な数値目標と取組内容を定めています。平成28年度から令和2年度を対象期間として、毎年、検証結果を公表しています。

問合せ 南三陸病院事務部 電話 0226-46-3646